

篠山市有害鳥獣対策推進協議会 の取り組み

～サル対策を中心に～

篠山市有害鳥獣対策推進協議会
鈴木克哉

(NPO法人里地里山問題研究所 代表理事)
(篠山市 獣害に強い集落づくり支援員)

1

篠山市有害鳥獣対策推進協議会（H20年度～）

○ 構成員

篠山市（事務局）・猟友会・JA丹波ささやま・自治会長会
NPO法人里地里山問題研究所（H29年度～）

○ 被害対策支援チーム（H20年度～）

篠山市農都環境課
JA丹波ささやま
兵庫県民局丹波農林事務所
兵庫県農業改良普及センター
兵庫県森林動物研究センター

専門員の配置

- 本協議会
・サル監視員・捕獲活動員
- 篠山市
・獣害に強い集落づくり支援員
(H27～)

兵庫県篠山市 (兵庫県の中東部)



- 人口 42,245人 (平成29年9月末現在)
- 総面積377.59 km²
- 特産品：黒大豆、山の芋、丹波栗、丹波松茸など
- 野生鳥獣による
農作物被害
年間約1,750万円

イノシシ・シカ・
サル(5群 約190頭)



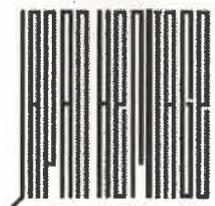
「日本遺産」に認定

地域の歴史的魅力や特色と通じて、日本文化・伝統を語るストーリーを認定する「日本遺産」に認定された。

丹波篠山 デカンショ節 ～民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの 記憶～

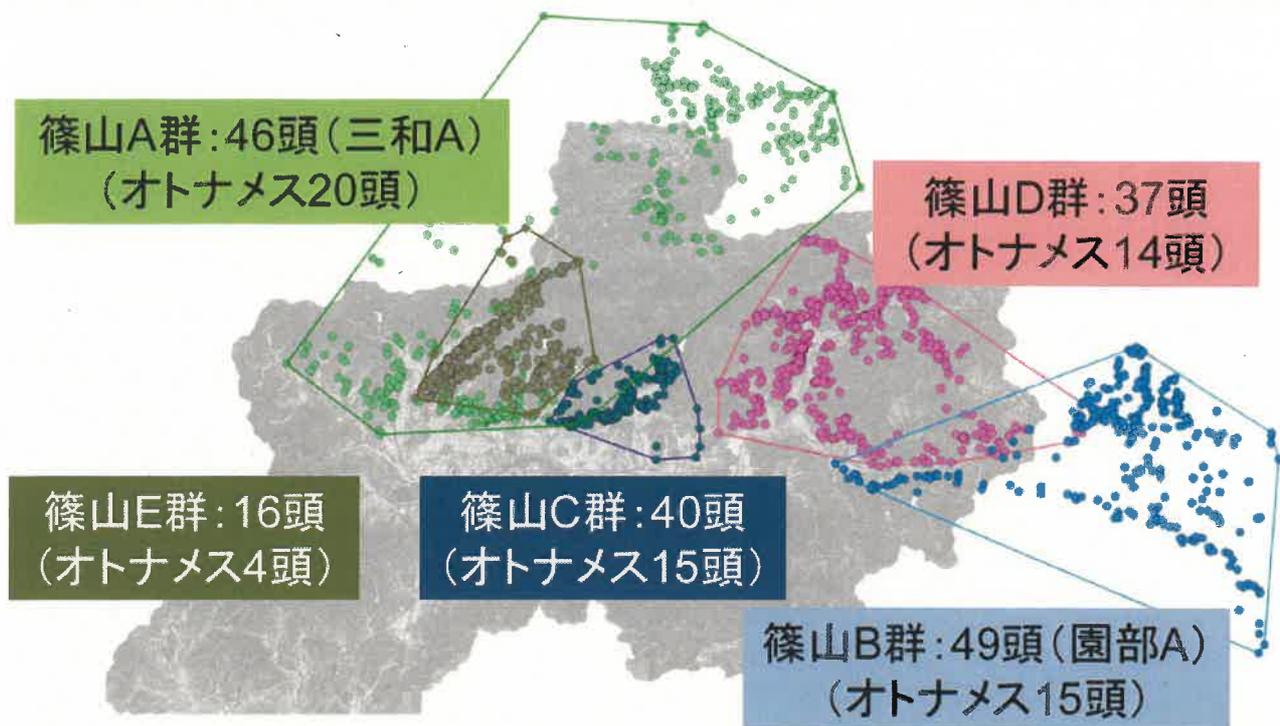
〔歌詞 (一部) 〕
丹波篠山山家の猿が (ヨイヨイ)
花のお江戸で芝居する (ヨーイヨーイデッカンショ)

雪がちらちら丹波の宿に (ヨイヨイ)
猪 (しし) が飛び込む牡丹鍋 (ヨーイヨーイデッカンショ)



JAPAN HERITAGE

篠山市に生息する ニホンザルの群れの分布と頭数（2017）



2017年兵庫県森林動物研究センター調査結果

「サルは何をやってもダメ」

「人間よりも頭がいい」

「もっと捕獲してほしい
(捕獲するしかない)」

篠山市のサル対策

(役割分担の明確化と住民対策支援)

1) 計画的な個体数管理

- 保全と被害軽減の両立

2) 集落主体の対策支援

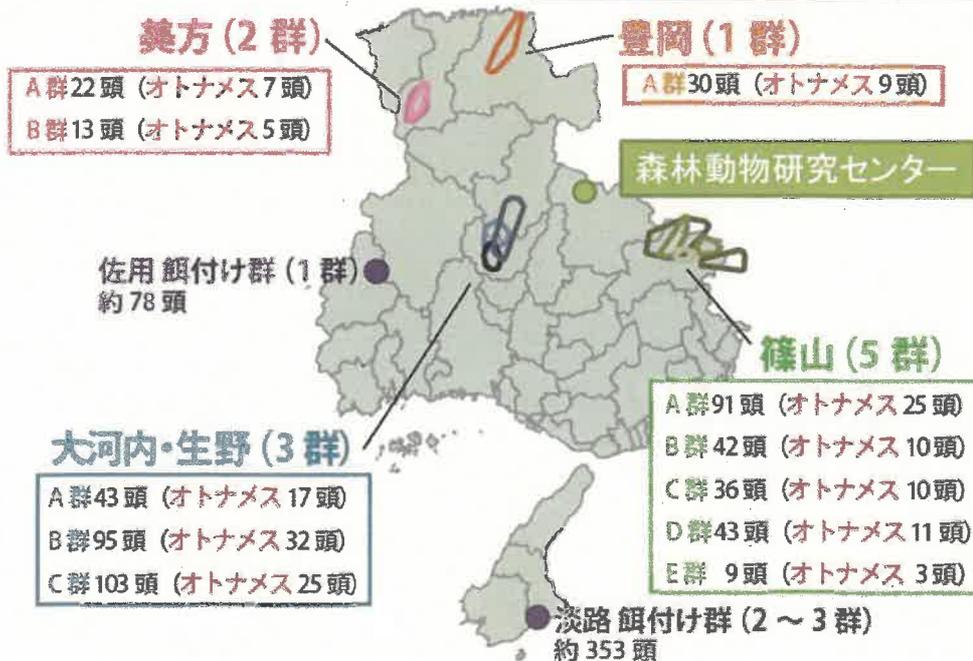
- 電気柵の設置支援
- 追い払い支援

兵庫県の二ホンザル (2013年当時)

野生群 約11群 527頭
餌付け群 約2群 431頭

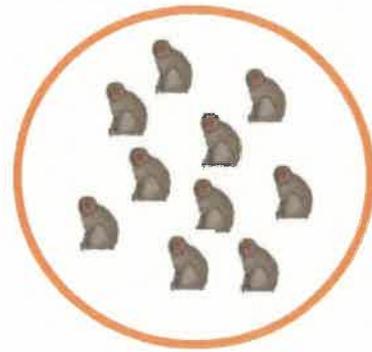
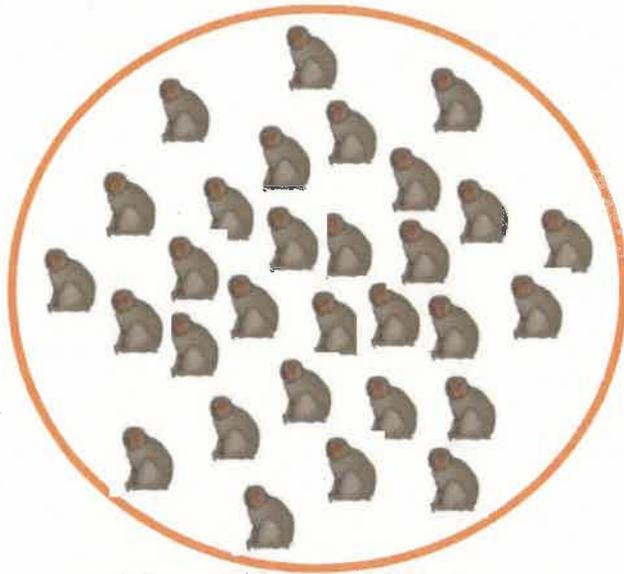
現存する群れの適正な維持

- ✓ 群れごとの管理
- ✓ オトナメス15頭未満で捕獲制限 (問題個体は除く)

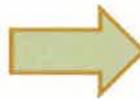


篠山市の方針：群れサイズの管理

消滅や分裂を防止しつつ、追い払い効果の出やすいサイズに



- 一度の被害が甚大
- 追い払いの労力が増す
- 分裂する可能性



目標サイズ
(40頭程度) で管理
※オトナメス数には配慮

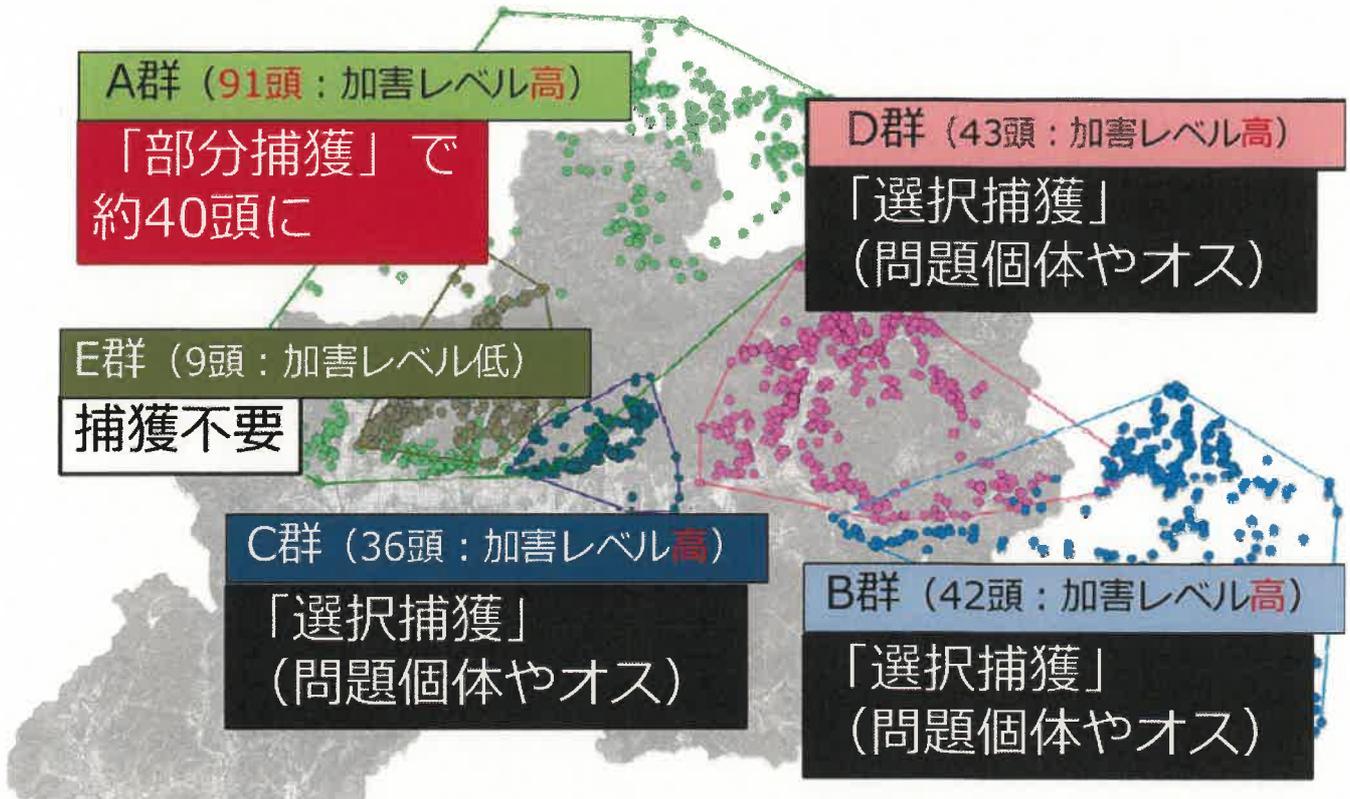
毎年の個体数モニタリング (兵庫県森林動物研究センター)



捕獲目標を定める

(例：篠山市2013年当時)

(現在の兵庫県の計画では全体捕獲は実施しない)



捕獲手法の検討・選択

大型わな(3基)



小型わな(35基)



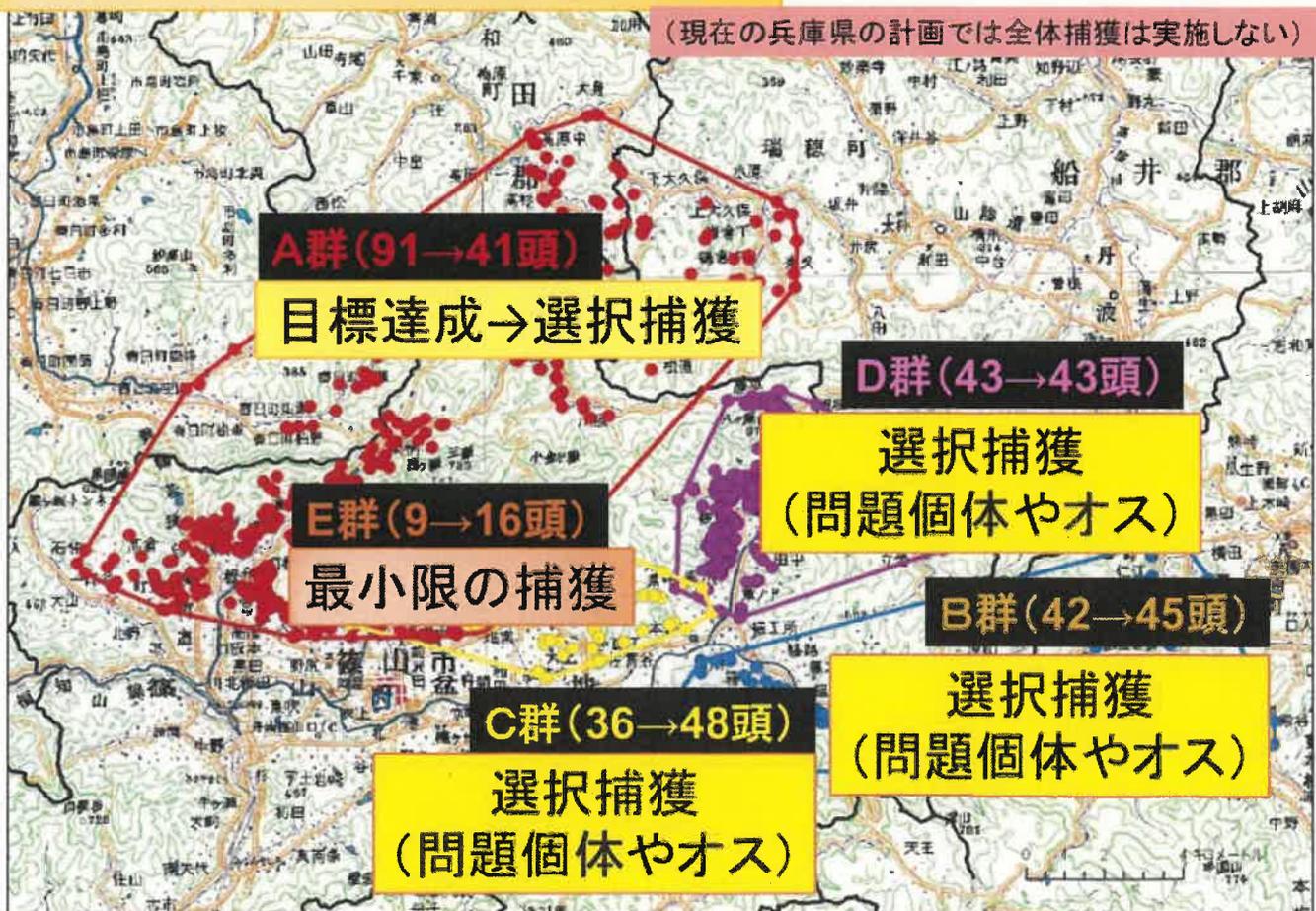
	小型わな	大型わな	銃器	合計
2013年度	6	0	0	6
2014年度	38	10	7	55
2015年度	27	11	0	38
2016年度	13	36	0	49

ICT大型捕獲檻（遠隔監視・操作が可能）の活用

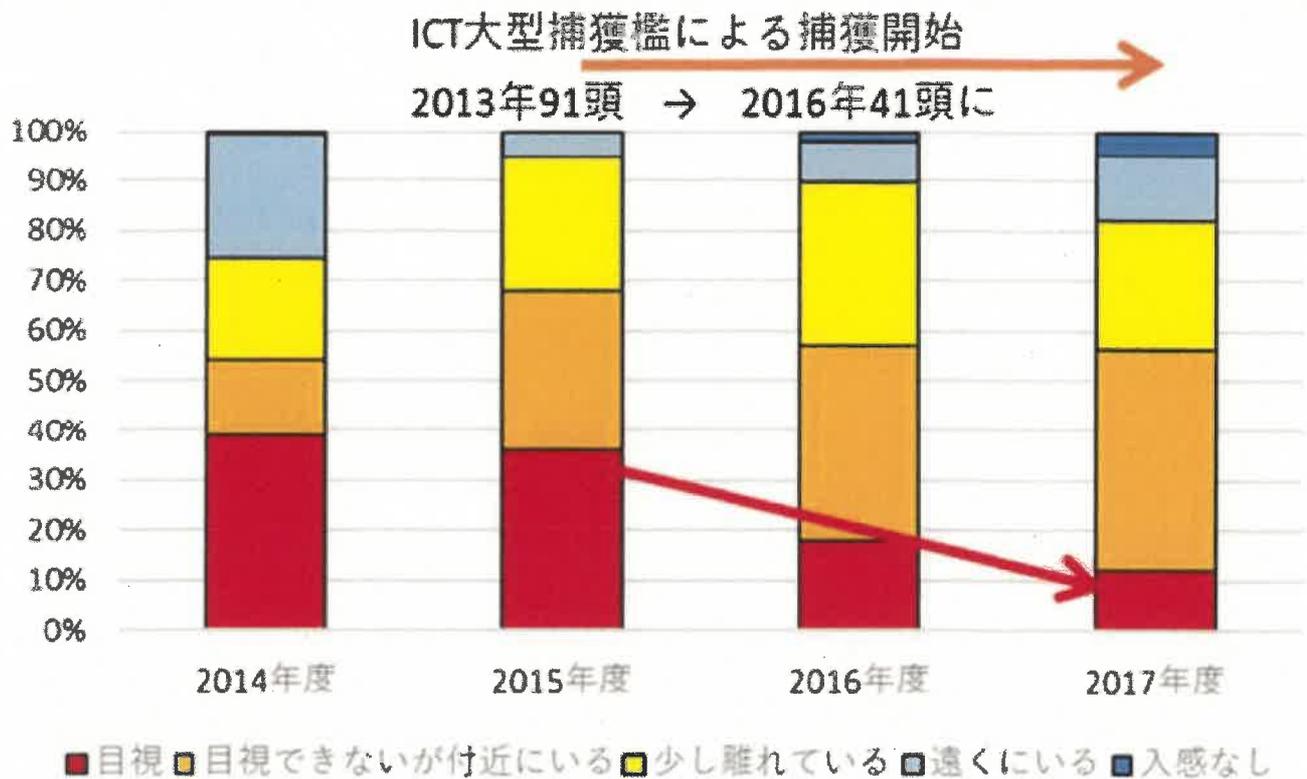


篠山市のサル生息状況（2016）

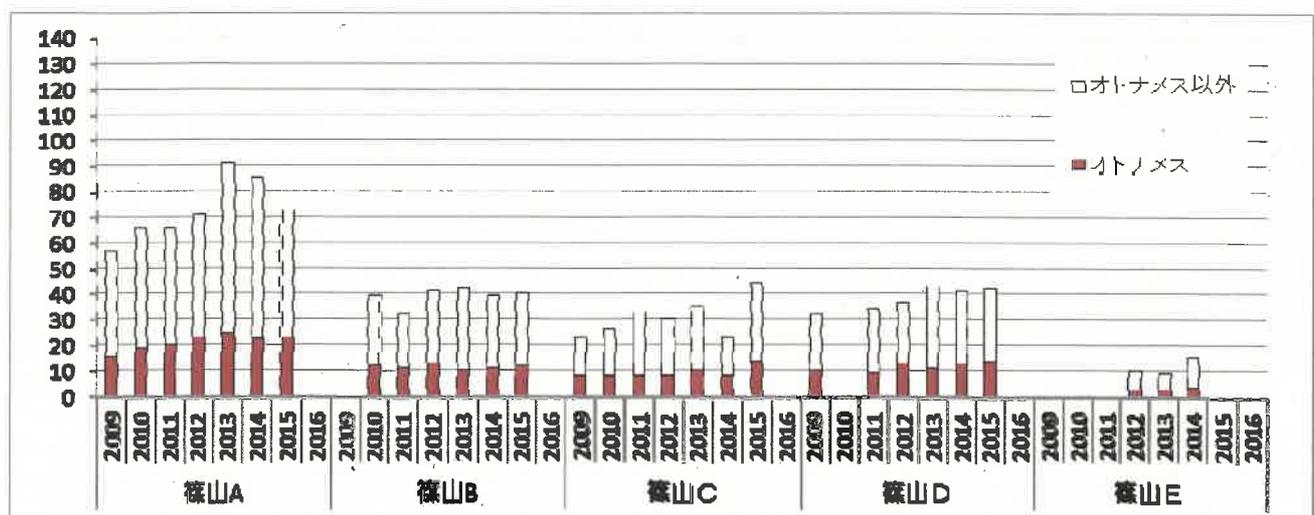
（現在の兵庫県の計画では全体捕獲は実施しない）



篠山A群集落出沒率の変化（夏期）



捕獲方針と実績を住民に「見える化」



新生児保有率0.63

新生児保有率0.70

新生児保有率0.43

新生児保有率0.49

新生児保有率0.28

計画的な個体数管理：
方針と実績を「見える化」したうえで

2) 集落主体の対策支援 (様々なメニュー)

○ 電気柵の設置支援

①補助事業 (国庫・市単)

出前講座

○ 追い払い支援

②サル監視員による支援 (メール連絡)

③出前講座

④追い払い道具支援

⑤モンキードッグ育成支援

⑥林辺整備事業

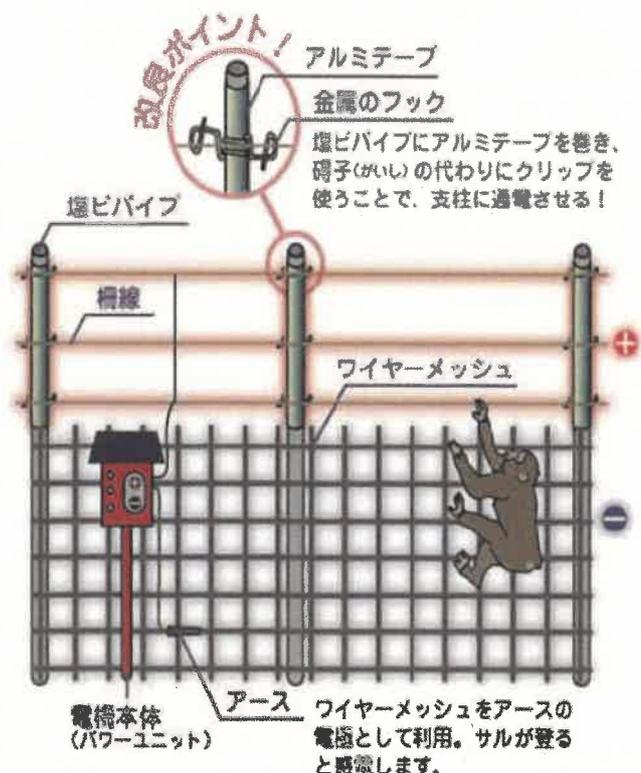


サルでも確実に守れる技術を紹介

香美町考案

通電式支柱「おじろ用心棒」

鳥取県開発「シシ嬢くん」を改良



効果的な電気柵を適切に設置すれば、農地は守れる！

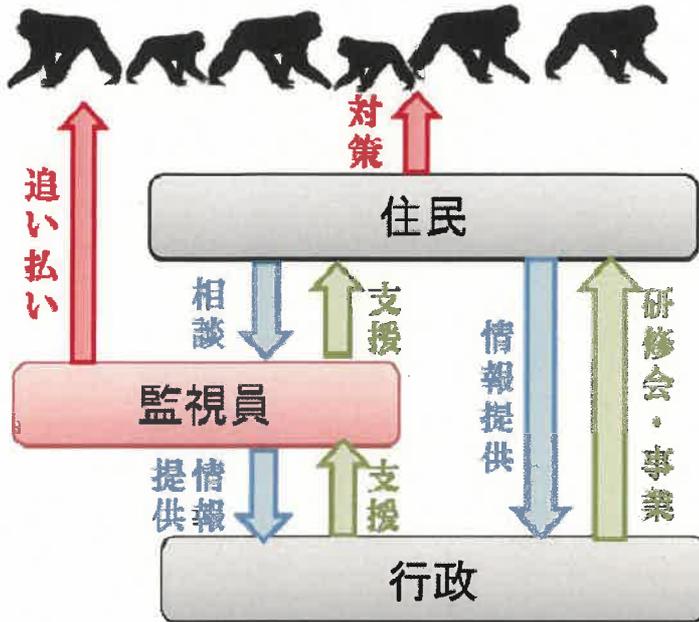


支援① サル用電気柵（おじろ用心棒）
設置補助事業（交付金・市単独）



	集落数	総距離
H24年度	4	5,823m
H25年度	23	35,277m
H26年度	19	20,418m
H27年度	8	9,077m
H28年度	4	9,768m
計	58	80,363m

支援② サル監視員による位置情報の連絡



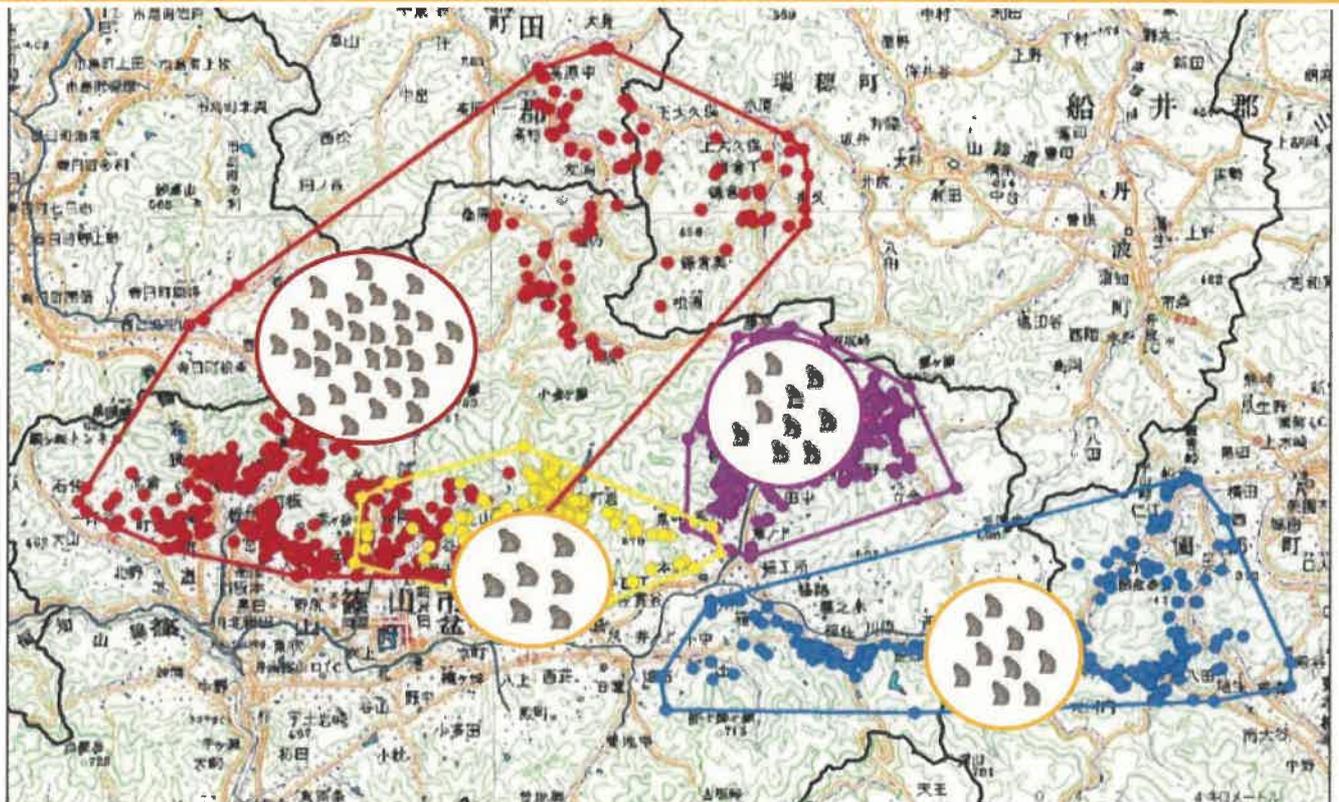
業務内容

月～土（祝除く）

各群れ1日2回（AM/PM）

- ① 追い払い
- ② 住民への位置情報の連絡
- ③ 捕獲（一部地域）
- ④ 地域に密着した指導
- ⑤ モニタリングのためのデータ収集

群れには行動圏があり、行動圏内にある集落を巡回している（群れの行動を把握できる）



サルの群れの位置情報をメールで連絡



◎ 1日2回の定時連絡（メール）

近くだと…警戒 遠くだと…安心

◎ 追い払いなど対策は集落主体で

支援③ サル対策出前講座の開催

集落ぐるみの追い払い支援・電気柵フォローアップ

	集落数
H24年度	15
H25年度	28
H26年度	30
H27年度	19
H28年度	11
計	103



【内容】

専門家による座学研修(サル対策全般)

追い払い技術指導(屋外)

地図を用いた追い払い作戦会議



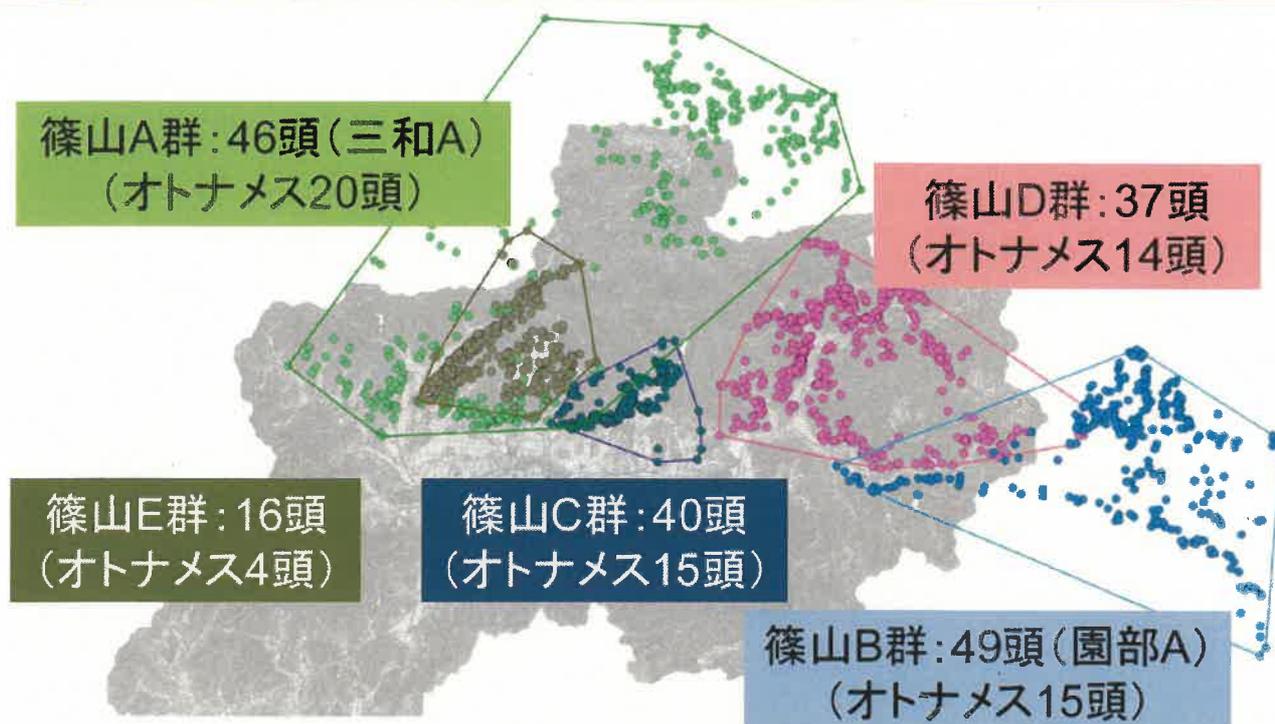
篠山市基本図

の3し 目標

- ① 見つけたら花火(笛、鍋)
- ② 合図を聞いたら、そこに集まる
- ③ 作戦を考える
追う人、見張りをする人
追う方向
- ④ 協力的に追いかける
- ⑤ 受信機の購入を検討
- ⑦ 電気柵の点検を
定期的にみるぞ!

集落独自の追いかける作戦・目標をたてる

篠山市外にも群れは移動する 各市町が独自に捕獲・対策を行っている状況



2017年兵庫県森林動物研究センター調査結果

大丹波地域サル対策広域協議会 (H29年3月~)

○ 構成員

福知山市・南丹市・京丹波町・篠山市・丹波市

○ 関係機関

京都府中丹・南丹広域振興局
兵庫県民局丹波農林事務所
京都府農林水産技術センター
兵庫県森林動物研究センター
NPO法人里地里山問題研究所
(神戸大学)

事業内容

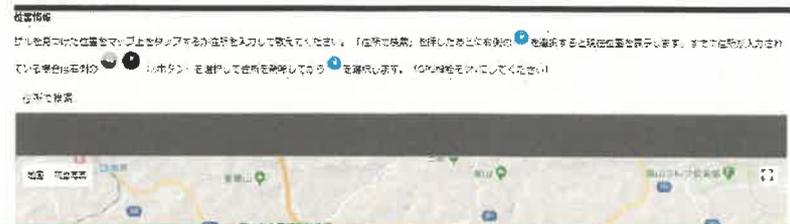
- 連絡会議で捕獲目標・対策状況共有
- ICT新技術を用いた位置情報の提供
- 集落出前講座
- 実施隊向け研修会

府県・市町連携、官学民連携による
サル管理の新しいモデルづくり

ICT新技術： 大丹波サル位置情報共有システム（サルイチ）



監視員が調査結果をタブレットで現地入力
and
住民が自ら目撃情報の提供も可能



- 各群の位置情報（2回/日）を登録
- 調査時の群れの出没・被害状況をモニタリング
⇒効果検証
施策検討
加害レベル判定に



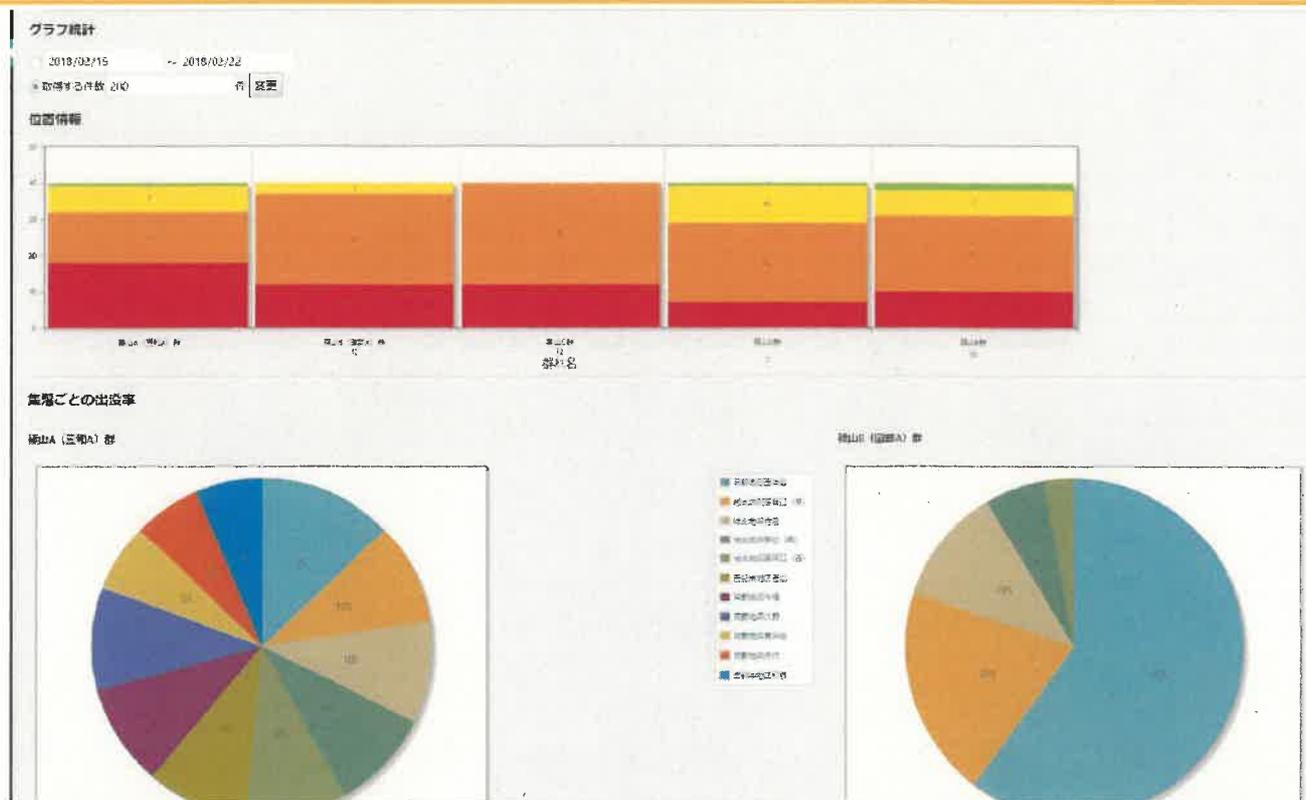
登録時にメールが届く（受信距離の設定も可能）

The screenshot shows a Gmail interface with an email from '大丹波地域サル対策広域協議会' (Daikawa Regional Squirrel Countermeasure Association) received at 8:53. The email subject is '大丹波地域サル対策広域協議会 大丹波地域サル対策広域協議会の前...' and it includes an attachment titled 'ニホンサル出沒情報' (Japanese Squirrel Sighting Information). The attachment is a map showing the location of a sighting in the Daikawa region, with a red pin and the text '地図で閲覧も可能' (Viewable on map).

5群の過去の情報も検索できる (群れの動向に対する知識・予測が深まる)



行政担当者向けページ
モニタリング結果は自動集計
 ⇒効果検証・施策検討・加害レベル判定に



大丹波地域サル対策広域協議会の目指すこと

広域連携で…

1) 計画的な個体数管理（目標・実績共有）

2) 集落主体の対策支援推進

（篠山市のノウハウ活用・専門NPOの参画）

✓ 大丹波サル位置情報配信システム（ICT新技術）

✓ 出前講座、実施隊（行政職員）向け研修会

サルの群れを山の中に押し戻す！

アンケート結果より

サルの位置は、事前に正確に知らせているので、大いん助かっています。
近づいてきたら、これからの対応としゃべりなどで、かなりの被害を防いでいるので、
大いんうかいます。

南丹市 66歳 女性

以前と比較するとサル被害が極端に減少しました。
但し、それはサルが近くに來る事が予想出来る日は朝6時半頃から日没まで
一日中 畑に出ているので、サルの侵入を阻止出来るからです。
お昼ごはんも夫と交代で家にもどります。
もう少し配信の回数を増し頂けたら、もっと便利になり有難いのですが…

南丹市 71歳 女性

(その理由について以下にお書きください)

情報を基に、待伏作戦に切り替えることができた
とくに夜明けに待伏して、朝食ととるようなようにする
のが効果的であると、感じている。数日(回)やる
と、少しは長居しなくなると思う。

南丹市 66歳 男性

(その理由について以下にお書きください)

どの辺に、いるのか、情報を察知して、追いかける
対策をしている。長居あきらめ、少しは利した。

篠山市 73歳 女性

(その理由について以下にお書きください)

A群の減少により被害は減少した。
朝が1日3回の両方信で夜に判る。
急ぎ続してほしい。

篠山市 72歳 男性

以前から篠山市の対策の噂を聞いていた

以前から篠山の従兄弟からその情報のことを聞いて
いた。篠山市から直接電話して受信できるように
福知山市へ相談取りかかっていた。今日受信できるよう
になり、本当に安心している。

福知山市 66歳 男性

監視員の方、御苦労様です。情報に頼っています。

篠山B群が、園部A群とし、園部に定住しているように思うのが、篠山の方へ
戻れない事情があるのでしょうか。篠山方面の住民の方の対策は良いのでしょうか？

南丹市 59歳 男性

住民向け全体研修会の継続開催

レベルに応じて内容をステップアップ



群れごとの連絡会議による住民ワークショップの様子



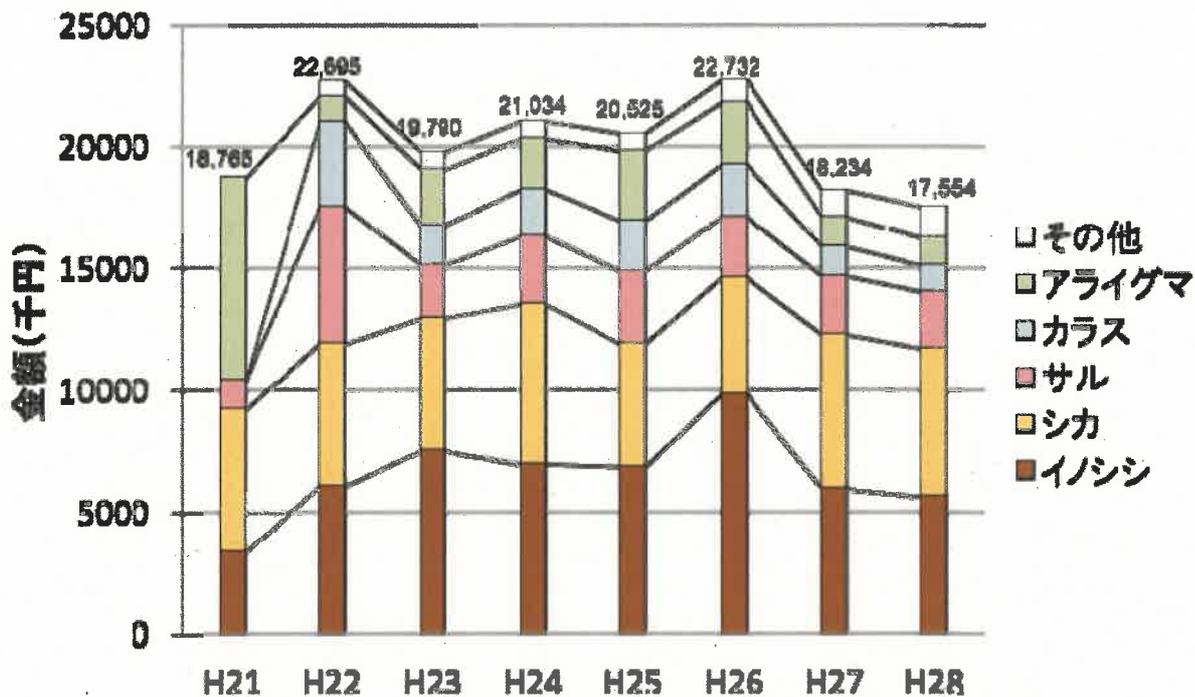
獣害柵のメンテナンスについての優良取組事例報告

「何くそ負けへんで」

この情報は大変有効と感謝しています。
皆、もっと勉強しなければいけないと思います。
私の場合、「自分は、サルより賢い」という信念
が、野生鳥獣に何うとせよ「負」に「なっています。
「何くそ、負けへんで」

南丹市 66歳 男性

H21年以降の篠山市内における被害金額の推移



篠山市の獣害対策：次のステップへ

もちろんまだまだ被害に悩まされている方は多い……

1) 広域的なサル管理体制へ

大丹波地域サル対策広域協議会の設立

2) 集落主体のシカ・イノシシ 防護-捕獲一体モデル

3) 獣がい対策で地域を元気に 「ささやまモデル」の発信

午後の事例報告で（NPO法人里地里山問題研究所）

あなたも 獣害から地域を守る
黒豆オーナーになりませんか？



都市住民の支援・協力を得ながら、
獣害対策を契機に地域活性化を目指す活動

なぜ
ここまで出来たか？

現場の課題を施策へフィードバックされるしくみ

サル対策ミーティングの開催（2か月に1回）

- 出没被害状況の情報交換・収集
- 課題の対処法の検討
- 住民説明方針の確認
- 必要な指導資料
（パンフ等）提供



サル監視員・市・県・森林動物研究センター・神戸大学等関係機関が連携した管理体制の構築

市の熱意

篠山発！！

地域を元気にする！
獣がい対策サミット (仮称)

2018年11月24-25日
篠山市で開催予定！！
参加・発表募集

ご清聴ありがとうございました。



職員(市民の皆さまにも?)に愛され続けてきた獣害パトロール車
大臣賞を花道に今年度末で引退いたします。